



## 教育とウェルビーイング②

### 「調和と協調」に基づくウェルビーイング？

#### 教育振興基本計画の柱になった “日本社会に根差したウェルビーイング”

G7 富山・金沢教育大臣会合「**富山・金沢宣言**」では、「**調和と協調に基づくウェルビーイング**へのアプローチ」の認識が共有されています。この「**調和と協調 (Balance and Harmony)**」は、日本が世界に発信したウェルビーイングの捉え方です。

それは、新たな**教育振興基本計画** (R5.6.16閣議決定) に明確に位置づけられています。

計画の2つコンセプトのうち1つが「**日本社会に根差したウェルビーイングの向上**」。本文には、ウェルビーイングを欧米的な文化価値観に基づく「**獲得的要素**」と、日本で重要な意味を有する「**協調的要素**」の2つの面から捉え、「我が国においては、ウェルビーイングの獲得的要素と協調的要素を**調和的・一体的に育む**  
**日本発のウェルビーイングの実現を目指すことが求められる**」と明記されています。国際的な流れも受けて、教育分野でのウェルビーイングの広まりが一気に加速化していくものと思われます。

人生満足度尺度 (エド・ディーナー教授等)

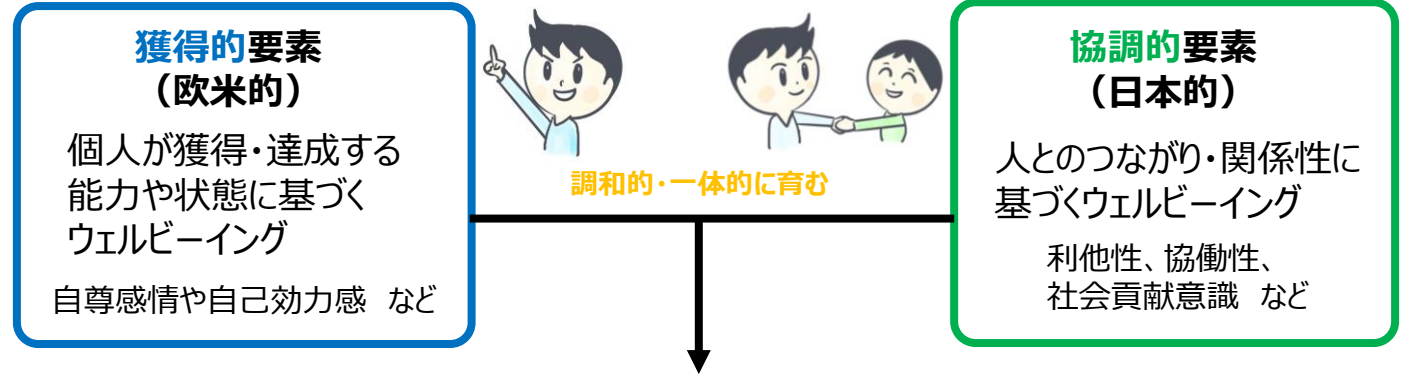
- ・私の人生は、とても素晴らしい状態だ
- ・私の生活環境は素晴らしい
- ・大体において、私の人生は理想に近いものである
- ・もう一度人生をやり直すとしても私には変えたいと思うところはほとんどない
- ・これまで私は望んだものは手に入れてきた

国際比較調査では日本は左の人生満足度尺度で低い傾向があるようです。

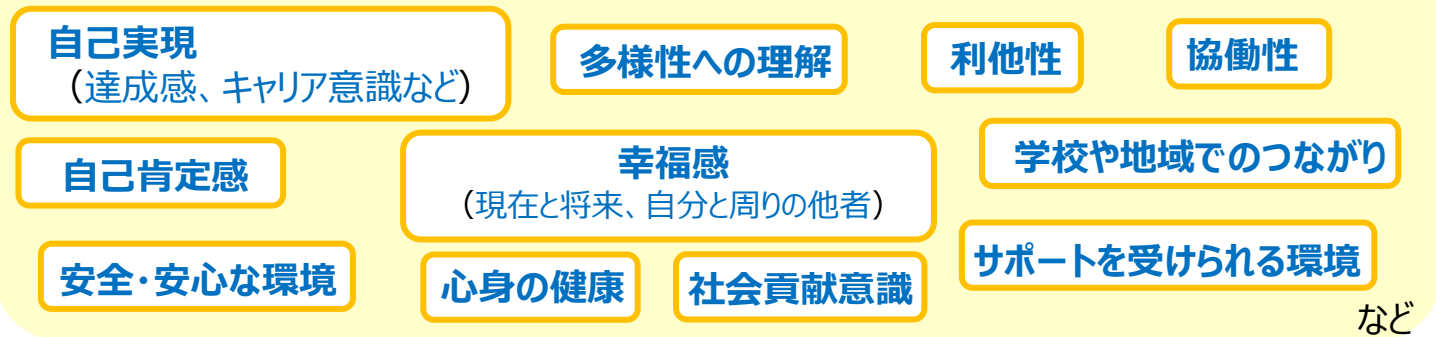


協調的幸福尺度 (内田由紀子教授等)

- ・自分だけでなく、身近なまわりの人もの楽しい気持ちでいると思う
- ・周りの人に認められていると感じる。
- ・大切な人を幸せにしていると思う
- ・平凡だが安定した日々を過ごしている
- ・まわりの人たちと同じくらい幸せだと思う など



### 日本社会に根差した**調和と協調**に基づくウェルビーイング



教育振興基本計画では、子供たちのウェルビーイングを高めるためには、**教師や職員、支援人材など学校全ての構成員のウェルビーイング確保も重要**、こうしたことが結果として家庭や地域のウェルビーイングにもつながる、とされている。



また、子供たち一人一人が幸福や生きがいを感じられる学びを保護者や地域の人々とともににつかっていくことで、学校に携わる人々のウェルビーイングが高まり、その**広がり**が、子供や地域を支え、更には世代を超えて**循環していく**という在り方が求められる、とあるね。**教育を通じて個と社会のウェルビーイングを目指す**という、強い意思を感じますね。

「World Happiness Report (世界幸福度報告)」など、国際的にも“balance and harmony”が注目され始めています

(参考) **教育振興基本計画 リンク (文部科学省ウェブサイト)**

次期教育振興計画について (答申) 中央教育審議会 (文部科学省ウェブサイト)  
 中央教育審議会教育振興基本計画部会 (第4回) 会議資料 (R4.7.12、同上)  
 次期教育振興基本計画ポイント解説～ウェルビーイング編～ (文部科学省YouTube)  
 「これからの幸福について」 内田由紀子 (新曜社)